

春のハイキングへ参加して

神戸城址から都波岐奈加等神社 12km

2023年5月13日(土)

1. ルート 近鉄「鈴鹿市駅」→神戸城跡→一の宮公園→都波岐奈加等神社→新大正橋→鈴鹿川派川左岸を河口へ→楠中央緑地→北楠駅
2. 参加者 市川義行、伊藤利男、伊橋健治、喜吉 雄、塩野輝雄、高木 勉、伝田 貢、中村軍志、中村 衛、浜田 一、福本 泉 (敬称略) 11名

3. 参加報告

春のハイキングは、2019年5月の開催を最後にコロナのため中止されていました。今年は実にまる3年ぶりの開催でした。

近鉄「鈴鹿市駅」前の花壇で集合写真を撮った時、なぜか不思議とブランクを感じないことに驚きました。いつものメンバーがいつもの声で会話ができる安心感のためでしょうか。何はともあれ皆さんコロナに負けず再会できたことを喜びました。



久しぶりの再会



神戸町の道路元標

今日の天気は、朝から曇りでお昼過ぎから雨になる予報でした。空を見上げながらの出発です。

歩いてすぐのところに「神戸町道路元標」があり、桑名郡長島村まで7里30町、津まで5里の記載がありました。



龍光寺の総門

元標を後にし、「神戸の寝釈迦」で有名な「龍光寺(りょうこうじ)」へ立ち寄ることになりました。立派な総門をくぐり境内へ入りました。

総門の左の柱に由来が記された板がかけられていて、下記のように書かれておりました。

総門の由来

豊臣秀吉の重臣大垣城主一柳直末(市助)が小田原攻めで戦死し弟の直盛監物が跡を継ぎ関ヶ原の戦いに功あって伍万石を以って神戸城を与えられた 慶長十七(1611)年 兄直末の二十三回忌に当たりこの門を寄進した ときの住持は一柳家相続問題による監物暗殺未遂事件で切腹を命ぜられた 宗本直治(直末の家老)の忘れ形見で後 京 南禅寺・東福寺に入った有名な養之玄長和尚(石田三成の師)であったことにも因縁を見る

総門を入るとすぐ左側に「心技体」と彫られた大きな石と第 48 代横綱「大鵬」関の銅像がありました。銅像のお顔は写真で見る大鵬関と同じようにりりしく優しいものでした。

大鵬関と長く交流のあった有志により建立されたもののようでした。



大鵬関の銅像



梁にいる二頭の竜

境内の中を歩いて本堂へ参拝しました。本堂正面の屋根の梁には二体の竜が取付けられ、所狭しと躍動しているようでした。また、竜の口は仁王様のように右が阿形、左が吽形になっていました。何か珍しいものを見て得をしたような気持ちになりました。

また、かんべの寝釈迦(大涅槃会)について、案内板には以下のように書かれていました。

かんべの寝釈迦(大涅槃会)

毎年三月の涅槃会には当山の大本山京都の東福寺の画僧兆殿司(吉山明兆)が描いたと伝えられ「日本山幅の一つ」といわれる大涅槃図が開帳され家内安全を願う参拝者で賑わう。

この十六畳敷きの第涅槃図には、五十三種の動物の中に魔物扱いされ描かれることがなかった猫が描かれており当時大変話題となったことから当山の涅槃会が有名になったようである。

龍光寺を後にして次のルート「神戸城跡」へ向かいました。歩いて10分くらいで到着しました。お城の石垣だけが残っている城跡でした。こういう場所へ来ると自然に「夏草や兵どもが夢の跡」の句が浮かんできます。石垣の上で物思いにふけりながら差入れの美味しいみそ饅頭を頂きながら一休みしました。



美味しいみそ饅頭

神戸城跡

伊勢平治の子孫関氏の一族神戸氏は、南北朝時代(十四世紀)飯野寺家町の地に沢城を築いたが、戦国時代の一五五〇年には、この地に神戸城を築いて移った。神戸氏七代目友盛は、北勢に威を振るったが、信長軍の侵攻により永禄十一年その三男、信孝を養子に迎えて和睦した。信孝は、天正八年ここに金箔の瓦も用いた五重の天守閣を築いた。しかし、本能寺の変後、岐阜城に移り、翌年秀吉と対立して知多半島で自刃し、文禄四年には天守閣も桑名城に移され、江戸時代を通して天守閣は造られず石垣だけが残された。天守台や石垣に悲運の武将を偲ぶことができる。



神戸城跡の石垣

小休止の後、次の目的地「都波岐奈加等神社」を目指して出発しました。まだ全行程の1/10くらいです。

伊勢線の横の側道のような道を田や麦畑などのどかな風景の中をゆっくり歩きました。一昔前は一面の稲田だったと思いますが、今は6割くらいが麦畑に転作されているようでした。伊勢線は高架鉄道になっていて、歩いていると時々頭の上を電車が通り過ぎていきます。法面に草が生い茂っていましたが、この草はだれが刈るんだろうといらぬ心配をしながら歩きました。途中で畑の脇に置いてある石を無断借用して小休止しました。



頭の上を通る伊勢線



転作の麦畑、正面は伊勢線高架



ちょっと小休止

しばらく歩き伊勢線と別れて一の宮町へ入り、「都波岐奈加等神社」へ参拝しました。二つの神社が合併して誕生したようです。ご利益も2倍になるかもと無人のおみくじ販売所で100円のおみくじを買いました。楽しみは後でということのうち帰ってからおみくじを開いたところなんと「大吉」でした。皆さんにどうぞ良いことがありますように!!



都波岐奈加等神社参

ご利益は開運、交通安全、商売繁盛、縁結びなど

都波岐奈加等神社（つばきなかとじんじゃ）は都波岐神社と奈加等神社が合併した神社で、御祭神にはみちひらきの神「猿田彦大神（さるたひこのおおかみ）」と天樞野命（あめのくぬのみこと）、中筒之男命（なかづつのおのみこと）をお祀りします。また、平安時代に弘法大師が奉納したと伝えられる獅子頭2体を本殿に御神体としてお祀りし、古くより中戸流獅子舞が伝わる神社です



おみくじは大吉でした

神社を後にしてゴールの楠中央緑地公園へ向けて再出発しました。残り5kmくらいの行程でしたが、天気予報通り途中で雨が降りだし雨具を用意したり、雨が止んだので雨具をしまったりとゴールまでが思いのほか長く感じられました。公園の東屋の中で少し遅い昼食をとりました。雨が降って少し寒かったですが、ビールで乾杯し差入れの美味しいチョコレートをつまみに会話に花が咲きました。帰りは北楠駅で解散となりました。スマホの歩数計では、17,800歩、12.8kmの行程でした。コロナ明けのなまった体には些かハードだったような気もしますが、快い疲れが残る楽しいハイキングでした。また、次回も頑張っ歩いて歩きたいと思ひます。



東屋での昼食



春のハイキングコース 2023.5